

のぎくぐみだより 5月号

担当
城戸

お子さんの春

春開だ、在櫛も野山の木々も日毎に青葉が増しはじめ、「この虫なに?」「このお花なに?」
「みてみて」とお子さん達が夢中になる自然のものがいっぱい季節がやってきました。4月に
入園・進級し、新しいクラスにもす、かつ慣れ、毎日、元気に「おはよう!」と登園してくる
春がとても嬉しく思います。

先月からお子さん達は園庭のうさぎさんたちが大好きで、「うさぎさんたち、おなかすかせ
てあげる!どくしょ?」と話す、「ごほん!!」とバケツの中、いっぱいにやわらかい葉を入れて
持、ていきました。「うさぎさんたち、いんど!おいしい?」「モグモグしよ〜ぬ〜」と話し
かけたり、観察したり、優しく背中を撫でてあげる姿に小さな動物さんたちに対する優しい気
持ちは育、てきたなあ〜と嬉しく思いました。そんなかわいいうさぎさんになって遊ぼうよ!
と晴れている日はお外に行き、お山からおいかけ、ニモして遊んだり、大型遊具に登、たり、
小さなお花さんや虫さんを探し、触れたりしながら春の広場でたくさん身体を動かしました。
今月も小さな動物さんたちとの触れ合いを大切にしながら戸外や室内でダイナミックに身体を
動かして遊ぶ、心身の開放を図、ていきたいと思います。



たくさんほめて、自信をつけてあげましょう!

お子さんたちは、自分の事は自分でやるよ、という意欲でいっぱいです。毎朝の三輪車
やトイレ前後の着脱、おやつ、ご飯の前の手あらいなど、自分から進んでしてあげようとする姿
がたくさん見られるようになりました。一人でできると「できたよ!」「ピカピカな
たよ!」と教えてくれるお子さんたちです。そして「OOちゃんがすごいね!」「えらいったね」
と一人でできた時にたくさんほめてあげると、「あ、とあ、としてあげよう!」「また次も一人で
してあげよう!」と新たな事への挑戦する意欲心が小さく、自立に向かう事と思えます。

お礼しくて、ついつい手を出しがらにな、てしまいがちですが、自分で出来る事をほげまし、出
来た時は共に喜び合、い、お子さんの自立を応援してあげて下さい。ご協力、よろしくお願、い
します。



からい

色々なおはなしをきいて、森の広場のイメージをみくらませながら、戸外や
室内で遊ぶことを存分に楽しもう。

おわがい

- おはがいがありませんので、お昼寝の時にお昼寝用としてバスタオルを使、ていきたいと思います。
ていします。名前を記入して持たせて下さい。気温が不安定で掛け布団を使用する日もありま
るので、シーツは園の方でお預りしておきます。
- 日中はパンツがおほしいと思います。まだ失敗も多いと思いますので、パンツとズボンを
多めに補充をお願いします。
- これから着替える機会も増える様になり、お洗濯物が多くなりそうです。着替えるの補充もお願いしま